

保存版 テスト範囲表の使い方

テスト範囲表には、高得点をとるためのヒントが山盛り！

上手に使うって目標達成を目指そう！

わからないところは
プラッツの先生に聞いてみよう！

テスト範囲表が出たら、すぐに持って
きてください。目標点を取るための
勉強内容を具体的に決めて
いきましょう！



第1回定期テスト範囲表	
<p>Point1</p> <p>教科書 「見えない対」 P16~17 「アイスブリネット」 P18~P28 「枕草子」 P32~33 「熟語の構成」 P38~40</p> <p>2年の国語文法・1年生の読解の復習 「文節・単語・自立語・付属語」 P2~15</p> <p>国語のワーク P2~16 漢字の学習 P10~15</p> <p>配布されたプリントすべて</p>	<p>各科目の表を確認して 「どれくらい広いのか？」 「範囲は何ページ分か？」を調べよう！ テスト勉強の計画を立てる際の優先順位を 決めるヒントになるよ！</p>
<p>【歴史的分野】 教科書：P74~P119 ワーク『社会の自主学習・歴史1』 P33~P65 ワーク『社会の自主学習・歴史2』 P2~P11 資料集：P60~105</p>	<p>教科書の太字（重要語句）を理解する。 ・ノートを見直し、時代の流れを整理する。 ・ワークやプリントは、理解できるまで繰り返し勉強する。 【ポイント】 ・それぞれの時代の文化の特徴を確認、作品や宗教を整理する。 ・日明貿易や南蛮貿易の背景や各貿易の特徴を確認する。 ・テスト教への政策の変化を整理する。 ・秀吉・家康の政策とその目的を説明できるようにする。 ・ルネサンス〜大航海時代のヨーロッパの変化を整理する。</p>
<p>○1年生分野 ・立体の投影図、表面積、体積 ・資料の活用 ワーク前回からの残り全部</p> <p>○2年生分野 ・式の計算 教科書P12~24 ワークP2~15</p>	<p>○1年生の内容が多いので、しっかりと復習しておく。 ・表面積、体積の問題を多くの種類解いておく。 ・資料の活用の用語を確認しておく。 ・文字式の計算（特に分数、指数関係）の練習をしておく。</p>
<p>≪1年の内容≫ 教科書p.90~p.136 身のまわりの現象 (p.122~p.126水圧・浮力を除く) (補助教材p.1~p.3力のつり合いを含む) ワークp.40~p.57 パラプリア 7~10</p> <p>≪2年の内容≫ 教科書p.141~p.159 ワークp.70~p.74,p.79①,p.89①~③ p.94①,p.95① パラプリア 5~16</p>	<p>○ノートを見直し、授業で学習した内容を復習する。 ○実験した内容は、実験方法、結果などしっかり整理しておく。 ○教科書の太字は漢字で書けるようにしておく。 ○ワークを繰り返しやって定着を確認する。(2回以上) ○ベタプリントで力試し。 ・凸レンズを通る光の進み方の作図ができるようにしておく。 ・音の大小や高低の違いを、音の波形から説明できるようにしておく。 ・力を矢印を使って作用で表せるようにしておく。 ・実験結果をグラフで表す。 ・密度の計算ができる。 ・船舶のつくりを見たり。 ・消化器官、消化液。</p>
<p>16~p.27 現在形 / 現在完了 / 過去形 / 過去進行形 when節 / 未来表現 will, be going to > パラプリント：1~10</p> <p>英語 ・テスト対策プリント ・配布されたプリントすべて</p>	<p>○音読をして、表紙の読みかたを確認する。 ○パラプリントや 間違えた問題を 復習する。</p>

この部分をしっかり読むようにしよう！
「何の練習を」「どのくらい」する必要がある
かについて、詳しく書かれているよ！
テストを作る先生からのヒントが書かれて
いることもあるから、見逃がし厳禁！

定期テスト勉強は教科書とワークじゃない
ことも結構あるよ！授業中に先生が配った
プリントから出題されることも多いので、キ
ッチンと保管する習慣を身に付けておこう
ね！！

- テスト勉強の計画を立てるときのコツ
- 十分な演習時間を取れるようにする。
⇒テスト範囲になっているワークを最低でも3回
以上は取り組めるようにしよう！
 - 計画を詰め込み過ぎない。
⇒計画通りに進まなかったときのために、予備日
を入れておくようにしよう！
 - 計画を立てただけで満足しない。
⇒計画は実行されてこそ意味があるものになるよ！
計画倒れにならない計画を考えよう！